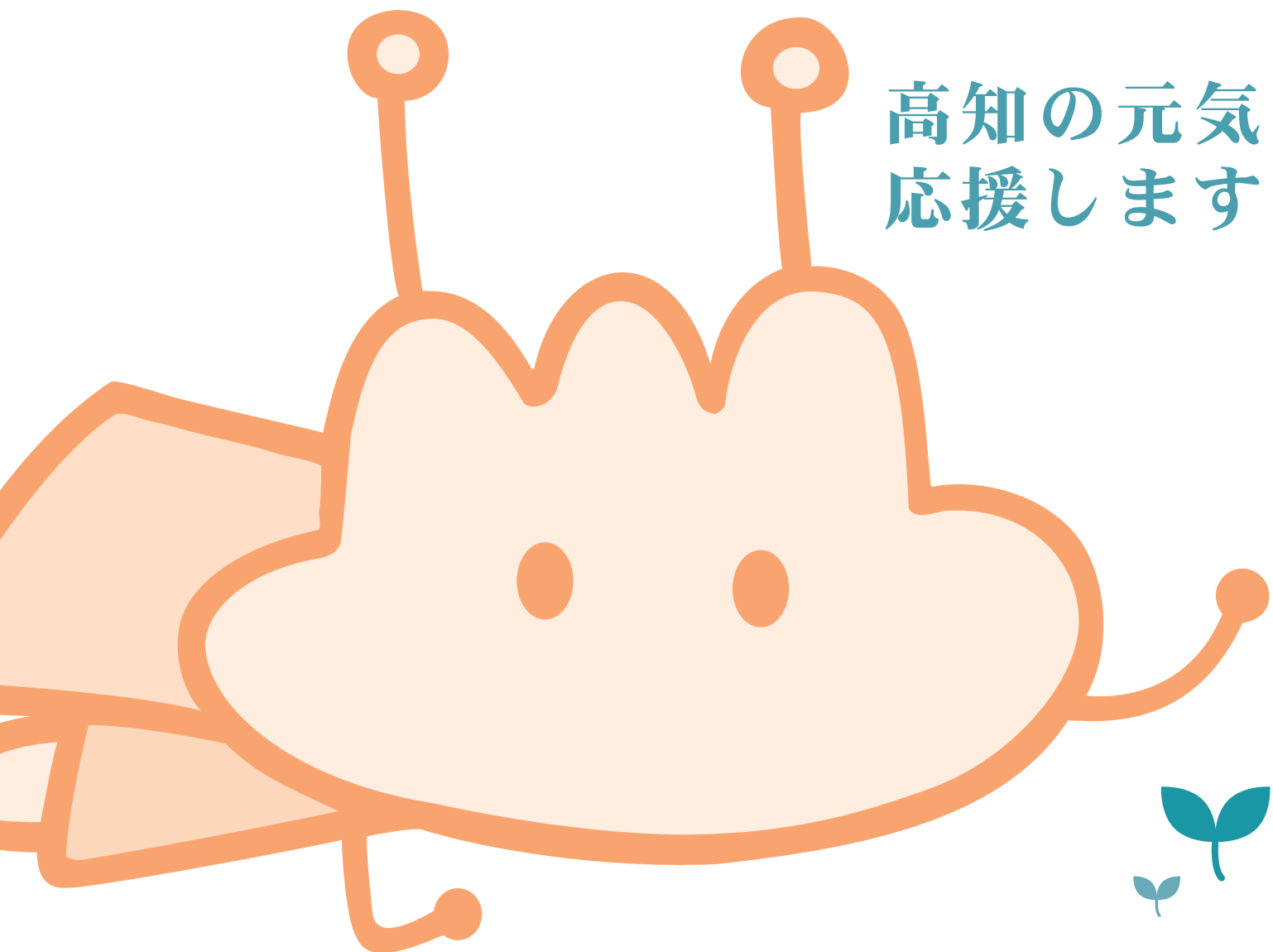


2007年4月～2008年3月

高知県ボランティア・NPOセンター 事業レポート ～2007年度の取組み～

高知の元気
応援します



2007.4.～2008.3.
report

2007年度事業を振り返って

2007年の世相を一字で表す言葉は、「偽」でした。この1、2年、「耐震偽装」、「食肉偽装」、「エコ偽装」など多くの偽装事件が明るみになり、私たちが社会のなかで信じていたものは、実は何となく危うく脆いものだと不安に駆られたからかもしれません。

高知県では、中山間地域を中心に過疎化、高齢化がすすみ、さらには、県全体が長い景気低迷のトンネルから抜け出せないなかで、若者の県外流出が増加傾向にあるなど、地域全体の活力の低下が懸念されています。一方、自治体においても、厳しい財政危機の状況にあり、多様化・複雑化している県民ニーズ、地域ニーズに、行政がすべて手を差し伸べることは今や不可能となっています。

高知県が今後「豊かで活力ある地域」となるには、県民主体、住民主体による地域課題の解決やまちづくりの発想に大胆にシフトしたうえ、県民・NPO・行政・企業の協働による社会づくりをすすめていく必要があります。人任せ、他人任せではいつまでたっても何も解決に結びつきませんし、社会は良い方向に変わりません。自ら知恵を絞り、汗を流し、そして一人ではできないことは他者に呼びかけ、他者とともに成果を挙げていってこそ、「偽」ではない、本物の社会づくりが高知において実現できると感じた1年でもありました。

このようななか、高知県ボランティア・NPOセンターでは、3ヶ年戦略のスタートの年となる2007年度、ボランティアやNPO活動の活性化を図るための様々な支援事業を実施しました。

主なものとしては、NPOの「経営するチカラ」を高める研究・学習の場として「NPO経営塾」を本格開校したほか、四万十町において、「NPO」と「市町村役場」が地域課題の解決に協働して取組むコーディネート支援に3ヶ年計画で着手しました。これらの事業を通じて、NPOがこれからの社会や地域をつくっていく主体として、信頼されると同時に、責任を果たす存在として、成長し、広がる必要性と可能性を感じました。

また、2007年度は、来る南海大震災等に備え、災害発生後に被災地の暮らしを支える災害ボランティア活動の体制整備に向けた取組みを本格的に開始した年でもあります。今年度に全面改訂した「災害ボランティア活動支援マニュアル」を携えて、向こう6年間にわたり、センターのスタッフが全市町村に入って具体的な体制整備に向けた支援を行なうこととしております。この取組みを通じ、日常における関係者の「顔の見えるネットワーク」がつくられ、地域全体の災害対応力の強化につながることを期待されます。

今後も、「市民のチカラ」が発揮できる社会の実現に向けて、ボランティア・NPOの方々を支援する事業を充実・発展することで、高知における中間支援組織としての役割を果たしていきたいと考えております。

引続き、センターの運営及び事業に、多くの方々のご協力とご参画をいただきますよう、よろしく願いいたします。

高知県ボランティア・NPOセンター
所長 永野英志

も く じ

1. NPO支援事業の実施	1
(1) NPOの普及啓発	1
① NPO基礎講座の開催	1
(2) NPOの活動基盤強化	2
① こうちNPOフォーラム2007（10周年記念フォーラム）の開催	2
② NPO経営塾の開催	4
③ NPO実務講座の開催	6
④ NPO実務相談の実施	6
⑤ NPOの情報発信力支援プロジェクトの実施	7
⑥ ボランティアガイダンスの開催	7
⑦ こうちボランティア・NPO支援基金の運用	7
⑧ 助成金情報等の提供	10
⑨ NPO会議室の貸出し	10
⑩ NPOに関する相談対応	11
(3) NPOのネットワーキング支援	11
① 高知県東部地域NPOネットワークの推進	11
② NPO支援スタッフ会議の開催	13
(4) 他セクターとの協働の推進	13
① NPOと市町村が協働したまちづくり推進研究会の開催	13
② 企業市民セミナーの開催	15
③ 企業・NPO資源循環システムの運用	16
④ 企業・NPOパートナーシップ情報の発行	17
⑤ 「第4回地域づくり仕掛け人市」の開催	18
⑥ NPO等による移動サービスの支援	19
2. ボランティア活動推進事業の実施	21
(1) ボランティア活動の啓発と参加支援	21
① こうちボランティアフェスティバル2007の開催	21
② こうちボランティア・NPO通信「てをつなごう」の発行	23
③ ピッピネット[こうちボランティア・NPO情報システム]の運用	25
④ ピッピネット啓発用オリジナルグッズの販売	26
⑤ ボランティア募集情報サービスの提供	26
⑥ 相談対応	26
(2) ボランティアコーディネーション機能の向上	26
① ボランティア受入れのための実践講座の開催	26
② 地域のボランティアコーディネーション機能強化事業（助成事業）の実施	28
(3) 災害ボランティア活動の支援基盤の整備	28
① 災害ボランティア活動支援マニュアル改訂版の作成	29
② 市町村単位で「災害ボランティアセンター体制づくり推進事業」（助成事業）の実施	29
③ 県域での「災害ボランティア活動支援本部」の設置・運営に向けた体制づくり	29
④ 災害ボランティアセンター立上げのための実践講座の開催	30

(4) 福祉教育・ボランティア学習の推進-----	33
① 福祉教育・ボランティア学習プログラムづくり研修会の開催-----	33
② 福祉教育・ボランティア学習地域推進事業（助成事業）の実施-----	34
3. 各団体の事業への協力-----	36
① 学習会等への講師派遣-----	36
② 委員会等への派遣-----	38
4. 運営委員会の開催-----	39
運営委員会の体制-----	39
① 全体会の開催-----	39
② 幹事会の開催-----	40
高知県ボランティア・NPOセンター運営委員会委員名簿-----	41
アドバイザー-----	41
事務局職員名簿-----	41

1. NPO支援事業の実施

NPOの活動基盤の強化を図るための各種支援システムの運用や学習会の開催、情報提供等を行ったほか、NPOのネットワーキング支援、NPOと他セクターとの協働の推進に関する各種事業を実施しました。

(1) NPOの普及啓発

NPO基礎講座を定期的で開催したほか、各地域や各団体が主催するNPO関連の学習会への協力（事務局スタッフの講師派遣等）を行いました。

また、NPOガイドブック等各種NPO関連資料をあらゆる場で随時配布するなど、NPOの普及啓発に努めました。

①NPO基礎講座の開催

NPOやNPO法の概要、組織運営にあたっての必要な基礎知識を学べる場として、「NPO基礎講座」を定期的で開催しました。

開催日時／会場	主な内容	参加者数
2007年5月29日(火) 18:30~20:40 県立ふくし交流プラザ 5F 研修室B	○NPOとは ○特定非営利活動促進法の概要 ○NPOの組織運営の基礎	14名
2007年8月1日(水) 18:30~20:40 県立ふくし交流プラザ 5F 研修室C		7名
2007年10月13日(土) 10:00~12:10 県立ふくし交流プラザ 5F 研修室B		5名
2008年1月31日(木) 18:30~20:40 県立ふくし交流プラザ 5F 研修室B		19名
4 回 開 催		45名

[講師] 高知県ボランティア・NPOセンター
 所長 永野 英志
 所長代理 半田 雅典

2007年5月15日付
 高知新聞朝刊(高知新聞社提供)

NPO活動に理解を深めて
 高知市

29日から基礎講座
 県ボランティア・NPOセンターは、NPO活動への理解を深めてもらうため二十九日から高知市明倉茂の県立ふくし交流プラザで開く「NPO基礎講座」の受講者を募集している。

四センターの職員が特定非営利活動促進法の概要や、組織運営の基礎などを解説。活動の始め方や組織・人づくり、法人格取得の手続きなども分かりやすく講義する。いずれも同じ内容で、五月二十九日▽八月一日▽十月十三日▽平成二十年一月三十一日の四回開催する。十月十三日のみ午前十時〜午後零時十分で、残る三回は午後六時半〜同八時四十分。

参加費は一講座五百円。定員は先着二十人。開催日の二日前までに同センター(電話088・850・9100、ファクス088・844・3852)に申し込みを。

② NPOの活動基盤強化

NPO経営塾を本格開校したほか、NPOの経営や実務、今後のあり方を学べる学習会等の開催、情報提供など、NPOの活動基盤強化に関する各種事業を実施しました。また「こうちボランティア・NPO支援基金」など、社会資源（ヒトと資金）をNPOへつなぐシステムの運用を行いました。

①こうちNPOフォーラム2007（10周年記念フォーラム）の開催

「高知を拓くNPO ～「加わる」10年から「生きる」10年へ～」をテーマとし、「こうちNPOフォーラム2007」を開催しました。

このフォーラムは、NPOに関わる方や関心のある方たちが、地域や立場の違い等を越えて参集し、NPOの現状や課題を確認するとともに、互いに知恵を出し合い、団体相互の交流を深めあうことで、より一層ネットワークを広げていくことを目的に開催しているものです。

10回目の開催を迎えた今回は「10周年記念フォーラム」とし、10年間の振り返りを通じて今後のNPOのありようを中心に議論を深めました。

開催にあたっては、高知市市民活動サポートセンター、高知県西部NPO支援ネットワーク、環境活動支援センターえこらぼとの共同開催としました。さらにNPO関係者有志でつくる実行委員会（山崎水紀夫委員長／実行委員数21名／9回開催）を結成し、フォーラムの企画・運営を行いました。

【こうちNPOフォーラム2007実行委員会、高知市市民活動サポートセンター、特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク、環境活動支援センターえこらぼと共催】

【開催日時】[初 日]2007年12月1日(土) 13:30～16:40

[2日目]2007年12月2日(日) 9:30～16:00

【会 場】県立ふくし交流プラザ

	内 容	一 般 参加者数
	○オプション企画「NPO基礎講座」 高知県ボランティア・NPOセンター 所長代理 半田 雅典	13名
	○オープニングセレモニー 開会挨拶 こうちNPOフォーラム2007実行委員会 実行委員長 山崎水紀夫氏	
	○講演「開く×動く＝変わる ～社会を拓くNPOの可能性～」 神宮寺 住職 特定非営利活動法人 長野県NPOセンター 代表理事 高橋 卓志氏[長野]	
初 日	○フリップディスカッション 「高知を拓くNPO ～「加わる」10年から「生きる」10年へ～」 【出演者】 宇部フロンティア大学短期大学部 准教授 伊藤 一統氏[山口] <こうちNPOフォーラム2002実行委員長> 特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク 副理事長 八木 雅昭氏 <こうちNPOフォーラム2004実行委員長> 特定非営利活動法人高知こどもの図書館 理事長 田島 真紀氏 <こうちNPOフォーラム2006実行委員長> 【コメンテーター】 神宮寺住職／特定非営利活動法人長野県NPOセンター代表理事 高橋 卓志氏[長野] 【進行役】 特定非営利活動法人NPO高知市民会議 理事長 山崎水紀夫氏 <こうちNPOフォーラム2007実行委員長>	82名
	○交流会	

2 日 目	<p>○分科会①「どうする！活動資金 ～資金確保の新たなしくみづくりを考える～」</p> <p>[話題提供者] 株式会社四国銀行 お客さまサポート部 調査役 門田 芳徳氏 市川市企画部 市民協働推進担当 主 幹 寺沢 和博氏[千葉] 中央労働金庫 総合企画部 CSR企画 次 長 山口 郁子氏[東京]</p> <p>[コーディネーター] 中央労働金庫 総合企画部 CSR企画 次 長 山口 郁子氏[東京]</p> <p>[進 行 役] 高知市市民活動サポートセンター センター長 畠中 洋行氏</p>	20名
	<p>○分科会②「子どもの育ちを支えあうために ～NPOによる第三の居場所づくり～」</p> <p>[話題提供者] 菖蒲谷団地自治会（夢長屋） 塩井 政利氏 特定非営利活動法人日高わのわ会 事務局長 安岡 千春氏 特定非営利活動法人高知市こども劇場 理 事 長 武市真寿美氏</p> <p>[アドバイザー] 神宮寺住職／特定非営利活動法人長野県NPOセンター代表理事 高橋 卓志氏[長野]</p> <p>[進 行 役] 特定非営利活動法人高知市こども劇場 副理事長 北村 絵理氏 特定非営利活動法人高知こどもの図書館 理 事 長 田島 真紀氏</p>	14名
	<p>○分科会③「難しくても簡単な「協働」がわかります!! ～これがNPOと行政との「協働」だ～」</p> <p>[講師・進行役] 環境活動支援センターえこらぼ センター長 兼松 方彦氏</p>	10名
	<p>○分科会④「地域の元気づくりのヒントを見つけよう！ ～NPOと地域団体がともに考える高知の未来～」</p> <p>[話題提供者] 高知県政策企画部市町村合併支援室 主 任 前田 剛志氏 特定非営利活動法人とかの元気村 理事長(村長) 森 正彦氏</p> <p>[進 行 役] 高知女子大学社会福祉学部 助 教 太田こずえ氏</p>	20名
	<p>○分科会⑤「NPOの成果発表」</p> <p>テーマ1 フロンティア</p> <p>[成果発表者] 平和資料館・草の家 館 長 岡村 正弘氏 高知演劇ネットワーク・演会 代 表 西村 和洋氏 特定非営利活動法人黒潮実感センター センター長 神田 優氏</p> <p>[進 行] 高知工科大学 工学部教授 大谷 英人氏</p> <p>テーマ2 公共施設の運営</p> <p>[成果発表者] 特定非営利活動法人南国市文化とスポーツ振興NPO 事務局長 西岡 常雄氏 特定非営利活動法土佐さめうら観光協会 会員(前事務局長) 森 文明氏 特定非営利活動法NPOとさしみず(土佐清水市立市民文化会館 主任) 柿谷 幸起氏</p> <p>[進 行] 財団法人高知県国際交流協会 シニアマネージャー 柏木 理男氏</p>	9名
	<p>○全体会</p> <p>[コメンテーター] 神宮寺住職／特定非営利活動法人長野県NPOセンター代表理事 高橋 卓志氏[長野]</p> <p>[進 行 役] こうちNPOフォーラム2007実行委員会 実行委員長 山崎水紀夫氏</p>	

〔一般参加者実人数〕 126名

「加わる」から「活きる」へ

10回目のNPOフォーラム

高知市で**基礎講座や記念講演**

来月1、2日

7 高知を拓(ひらく)くNPO 活動を踏まえて議論してき
 O「加わる」10年から
 『活(い)きる』10年へ』 初日は基礎講座の後、長
 の参加者を募集している。 野見NPOセンターの高橋
 同フォーラムは、NPO 卓志代表理事(住職)が 4・38552)。

県ポランティア・NPO 法が施行された平成十年か
 センターは十二月一日から毎年開き、ことしで節目
 に高知市朝倉茂の創立をく の十四回目。社会的に大きな
 し交流プラザで開く「こう 役割を担うようになつてき
 ちNPOフォーラム200 たNPOの在り方を、実践
 域団体との関係などについ
 て知識を深め合う。

「開く×動く×変わる」と
 題して記念講演。二日目は
 分科会で、活動資金や子ど
 もの育成の支援、行政や地
 域団体との関係などについ
 て知識を深め合う。

一日午後臨時半開演。参
 加費一千元(学生五百円)。

問い合わせ、申し込みは二
 十八日まで同センター
 (088・850・910
 0、ファクス088・84
 4・38552)。



各分科会の内容を報告・共有した全体会

2007年11月26日付
 高知新聞朝刊
 (高知新聞社提供)

②NPO経営塾の開催

NPOが、経営するチカラを高めていくことが求められているなか、NPOからの具体的な事例提供をもとに、「NPOの経営のあり方」を研究・学習し、今後のNPOの経営力強化につなげるとともに、モデル的なNPO経営の事例を創出することを目的として、「NPO経営塾」を年間を通じて8回開校しました。

昨年度実験的に行ったプレNPO経営塾を経て、2007年度に本格開校となりました。内容については、昨年度の開校準備会議メンバーで企画会議を行い、検討しました。

開催日時/会場	主 な 内 容	参加者数
2007年6月20日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○講義「NPO経営とは何か」 [講師] 高知大学人文学部 教授 上田 健作氏	14団体 25名
2007年7月18日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例提供「NPO砂浜美術館の経営の現状と課題」 ○研究・討論「経営課題の解決に向けた研究・討論」 [事例提供者] 特定非営利活動法人NPO砂浜美術館 事務局長 村上健太郎氏	13団体 22名
2007年8月22日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例提供「たびびとの経営の現状と課題」 ○研究・討論「経営課題の解決に向けた研究・討論」 [事例提供者] 特定非営利活動法人たびびと 副理事長・事務局長 濱田真理子氏	11団体 17名

2007年9月19日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例提供「地域福祉サポートあ・とむの経営の現状と課題」 ○研究・討論「経営課題の解決に向けた研究・討論」 [事例提供者] 特定非営利活動法人地域福祉サポートあ・とむ 理事長 山下香代子氏	11団体 21名
2007年10月17日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例提供「高知市こども劇場の経営の現状と課題」 ○研究・討論「経営課題の解決に向けた研究・討論」 [事例提供者] 特定非営利活動法人高知市こども劇場 理事長 武市真寿美氏	10団体 19名
2007年11月21日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○講義「問題分析ワークショップ」 [ファシリテーター] 高知大学人文学部 教授 上田 健作氏	11団体 21名
2008年2月20日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例研究後の検証 (NPO砂浜美術館の事例) ○次年度のNPO経営塾に関する意見交換	9団体 12名
2008年3月26日(水) 18:30~20:40 高知市市民活動サポート センター会議室	○事例研究後の検証 (たびびと、地域福祉サポートあ・とむ、高知市こども劇場の事例)	12団体 20名
8 回 開 催		157名

NPO経営塾企画会議メンバー名簿

(2007年度は1回開催)

団 体 名	役 職 名	氏 名
高知大学	人文学部教授	上 田 健 作
特定非営利活動法人YASU海の駅クラブ	理事長	丸 岡 克 典
	事務局長	安 芸 誠 一
特定非営利活動法人高知こどもの図書館	理事・館長	大 原 寿 美
	理事・職員	古 川 佳 代 子
特定非営利活動法人ワークスみらい高知	理事長	竹 村 利 道
特定非営利活動法人ごめん・なはり線を支援する会	事務局	浜 口 勝 洋
特定非営利活動法人NPO高知市民会議	チーフ	西 村 正 江
高知県文化環境部男女共同参画・NPO課	主任	松 本 英 雄
	所長代理	半 田 雅 典
高知県ボランティア・NPOセンター	主事	岡 本 真 友 美

③NPO実務講座の開催

特定非営利活動法人などNPOが運営をしていく中で、必要な会計、税務、労務、法務についての基本的な知識を学び、組織運営に役立てていただくことを目的として、「NPO実務講座」を開催しました。

開催日時/会場	主 な 内 容	参加者数
2007年6月2日(土) 9:00~16:00 県立ふくし交流プラザ5F研修室B	【会計初級編】 簿記の基礎知識、取引から会計処理の方法、試算表、決算書類の作成 【講師】 岡田会計事務所 岡田 康彦氏	17団体 25名
2007年6月9日(土) 9:00~15:00 県立ふくし交流プラザ5F研修室B	【税務編】 (AM) 法人税、源泉徴収等の基礎知識 (PM) 具体的な個別事例の質疑応答・意見交換 【講師】 岡田会計事務所 岡田 康彦氏	11団体 17名
2007年6月16日(土) 9:00~15:00 県立ふくし交流プラザ5F研修室B	【労務編】 (AM) 労働法、雇用契約、賃金、社会保険、労働保険の基礎知識 (PM) 具体的な個別事例の質疑応答・意見交換 【講師】 社会保険労務士 竹内 隆志氏	9団体 14名
2007年6月30日(土) 9:00~12:00 県立ふくし交流プラザ5F研修室C	【法務編】 法人登記、総会開催、議事録作成等の基礎知識、具体的な個別事例の質疑応答・意見交換 【講師】 司法書士 土居 雅之氏	8団体 13名
4 回 開 催		69名

④NPO実務相談の実施

NPOの実務に関する具体的な相談に税理士等が個別に応じる「NPO実務相談」を定期的にも実施しました。

【相談対応者】

- 会計・税務相談 岡田会計事務所 岡田 康彦氏
- 事業報告書等の県への提出書類や定款変更手続相談 高知県文化環境部男女共同参画・NPO課職員

開催日時/会場	利 用 団 体 数	
	会計・税務相談	県への提出書類相談
2007年4月21日(土) 10:00~12:00 県立ふくし交流プラザ4F会議室	2団体	—
2007年5月26日(土) 9:00~16:00 県立ふくし交流プラザ4F会議室	6団体	1団体
2007年7月14日(土) 10:00~12:00 県立ふくし交流プラザ4F会議室	2団体	—
2008年1月19日(土) 9:00~12:00 県立ふくし交流プラザ4F会議室	3団体	—
2008年3月15日(土) 9:00~15:00 県立ふくし交流プラザ4F会議室	5団体	—
5 回 実 施	18団体	1団体

⑤NPOの情報発信力支援プロジェクトの実施

近年、情報化・IT化がすすむなかで重要な情報ツールの一つとなっている「ホームページ」を介した、NPOの情報発信力の強化を目的に、NPOの「ホームページ」作成を学生が手助けするプロジェクトを実施しました。

実施にあたっては、ピッピネット（こうちボランティア・NPO情報システム）の運用に協力をいただいている高知大学総合情報センターの協力のもと、センターで団体を公募し、学生とのマッチングを行いました。

【2007年度支援団体】

特定非営利活動法人高知こどもの図書館、特定非営利活動法人要約筆記 高知・やまもも
高知SGG善意通訳クラブ 以上、3団体

⑥ボランティアガイダンスの開催

ボランティアの活動を希望する人と募集したい団体との「出会いの場」として「ボランティアガイダンス」を高知市市民活動サポートセンターと共同で開催しました。

ボランティア講座、体験談の後、ボランティアを募集したいNPOがプレゼンテーションし、ボランティア活動希望者が関心のある団体のブースへ出向き、個別面談をするというスタイルで行いました。

【開催日時】2007年7月7日(土) 9:30~12:00

【会場】

県立ふくし交流プラザ 2F多目的ホール

【主な内容】

○ボランティア“はじめの一歩”講座

高知県ボランティア・NPOセンター
所長代理 半田 雅典

○ボランティア体験談

高知SGG善意通訳クラブ
事務局長 漆原 佳代氏

○ボランティアグループ・NPOからの
プレゼンテーション

○団体のブースごとに個別面談

【出展団体】19団体（ボランティアを募集する団体）

【参加者数】90名



活動希望者と受入れ希望団体が面談

⑦こうちボランティア・NPO支援基金の運用

県民、企業等からの寄附金をNPOの資金確保につなげる「こうちボランティア・NPO支援基金」の運用を行いました。

随時、寄附金を募集しているほか、郵便局自動振替を活用した小口寄附の促進、量販店等への募金箱の設置、バザーの実施など、あらゆる方法で寄附金を促進しています。

2007年度は、この支援基金への寄附金を活用し、「フロンティア」をテーマに、第2回目の支援金交付団体を選考するための公開プレゼンテーション及び運営委員による審査会を行い、3団体に支援金を交付しました。

【こうちボランティア・NPO支援基金の概要】

運営主体	社会福祉法人高知県社会福祉協議会 ※同会内の高知県ボランティア・NPOセンターの事業として実施
資金源	県民、企業等からの寄附金

<p>3つの側面</p>	<p>(1) NPOへの資金面のサポートとして NPOは、組織運営や活動を実施するのにあたっての「資金調達」が大きな課題です。支援基金は、皆さまからいただいた寄附金を活用し、地域活動を行う団体に支援金を交付しています。</p> <p>(2) 県民や企業の皆さまの地域貢献の場として 「地域や社会に役に立ちたい」と思っている県民や企業の皆さまも多いと思います。支援基金は、皆さまの地域貢献の一手法として、「寄附」の受け皿的な役割を果たしています。</p> <p>(3) NPOが相互に活動高め合う機会として 支援金交付団体は、今後、NPOが目指すべき理想的な姿を毎年テーマ化し、各団体の実績や運営面での工夫を評価し、選考します。選考に至る過程で、公開プレゼンテーションを行うことにより、応募団体等が相互に活動高め合う機会にもなっています。</p>
<p>主な寄附の方法</p>	<p>①郵便局による「自動振込み」の利用（年1,000円または500円） ②冠婚葬祭のお返し寄附 ③チャリティーバザーやコンペ等の収益の寄附 ④募金箱への寄附 ⑤県民、企業、団体等からの寄附 など</p>



【2007年度の寄附金の状況】 980,333円（2005年度からの寄附金総額 3,266,783円）

【5,000円以上の寄附をいただいた方（2007年4月1日～2008年2月末／順不同）】

細木ユニティ病院様、大谷英人様（高知市）、半田敏子様（高知市）、山崎水紀夫様（高知市）、松永健二様（高知市）、高知県ボランティア・NPOセンター運営委員の皆様、こうちボランティアフェスティバル実行委員会様、高知県東部地域NPO活動推進会議メンバーの皆様、東部地域NPO交流会in赤岡参加者の皆様、NPO経営塾のメンバーの皆様、企業・NPOパートナーシップ委員会メンバーの皆様、匿名6名

「こうちボランティア・NPO支援基金」第2回公開プレゼンテーションの開催

支援基金への寄附金を活用した第2回目（2007年度）の支援金交付団体を決定するため、応募いただいた15団体による公開プレゼンテーションを開催しました。

公開プレゼンテーション終了後、運営委員（審査員）による選考を経て、支援金を交付する3団体を決定しています。

【開催日時】 2007（平成19）年11月10日（土） 9：20～12：40

【会 場】 県立ふくし交流プラザ 5F研修室A

【主な内容】 応募団体による公開プレゼンテーション（15団体）

【参加者数】 35名

〔2007年度支援金交付団体〕

1. テーマ 「フロンティア」
2. 団体名
平和資料館・草の家
高知演劇ネットワーク・演会
特定非営利活動法人黒潮実感センター
以上3団体



支援金交付団体選考のための公開プレゼンテーション

3. 選考理由
地域や社会に求められていることを先取りし、フロンティア・スピリッツ（開拓者精神）でもって、具体的な事業・サービスを開拓し、成果を挙げていること。また、開拓する過程にあたって、様々な工夫がなされていること。

4. 支援金交付額
1 団体あたり 300,000円

支援金交付希望の NPO など募集
来月20日まで

県ボランティア・NPOセンターは、県民や企業などの寄付金を財源に運営する「こうち・ボランティア・NPO支援基金」の本年度支援交付団体を募集している。応募締め切りは十月二十日。

同基金は財政基盤が弱く、収益性もない活動をしている団体を支援しようとして十七年三月に創設。企業や個人に寄付への協力を呼び掛ける一方、十八年度から助成をスタートしている。同年度は三団体に各三十万円を助成した。

本年度も三団体に各三十万円を支援する予定

で、選考の基準は「フロンティア」。▽地域のどんな課題に着目し、どんな事業・サービスを創造・開拓してきたか▽新しい事業・サービスを開拓する上でどんな工夫をしたか▽開拓したこと、どんな成果が挙げられたか――を基金運営委員が審査する。

応募資格は、県内を拠点に公益性を有する非営利活動を継続的に行っている団体。法人格の有無は問わない。十一月十日に公開プレゼンテーションを行う。

申請書や寄付などの問い合わせは、高知市朝倉戊三七五―の県ボランティア・NPOセンター（088・850・9100）。

2007年9月15日付 高知新聞朝刊（高知新聞社提供）

こうちNPO基金 3 団体に支援金
計90万円

県民や企業などからの寄付金をボランティアやNPO活動につなげる「こうちボランティア・NPO支援基金」の本年度の贈呈式がこのほど、

高知市朝倉戊の県立ふくし交流プラザで行われた。

同基金は県ボランティア・NPOセンターが一年前から運用しており、活動団体への交付は二回目。

本年度は、「フロンティア」がテーマ。地域や社会が求めるものを先取りし、成果を挙げていることを選考基準に、平和資料館・草の家▽高知演劇ネットワーク・演会▽NPO法人黒潮実感センター――の三団体に各三十万円の交付を決定。贈呈式では、県社会福祉協議会の島田一夫会長が各団体の代表者に目録を手渡した。

同基金への寄付は年々減少傾向にあり、同センターなどが基金への理解を呼び掛けている。

2007年12月5日付 高知新聞朝刊（高知新聞社提供）

こうちボランティア・NPO支援基金運営委員会委員名簿

(2007年度は2回開催)

〔任期／2007年4月1日～2009年3月31日〕

	団 体 名	役 職 名	氏 名
委員 長	高知工科大学	工学部教授	大 谷 英 人
副委員長	特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク	副理事長	八 木 雅 昭
委 員	特定非営利活動法人NPO高知市民会議	チーフ	西 村 正 江
	高知県経営者協会	事務局長	川 村 直 哉
	株式会社ゆうちょ銀行高知店 (旧高知中央郵便局)	貯金課長	林 和 則
		窓口サービス部長 ※2007年10月に交代	大 野 美 佳
高知大学	副学長	松 永 健 二	

⑧助成金情報等の提供

県内外の助成団体を募集している財団等の情報をまとめ、月1回程度、県内の希望するNPO等に情報発信をしました。また、企業や財団、独立行政法人等からNPOへの助成事業等の募集広報や推薦なども行いました。

〔助成金情報発信件数〕 99件

⑨NPO会議室の貸出し

高知県社会福祉センター1Fに設置した「NPO会議室」の貸出しを行いました。

【NPO会議室の概要】

利用料／無料

利用時間／9：00～22：00（年末年始を除く）

利用可能人数／20名程度

申込方法／あらかじめ電話で予約後、指定様式の申込書により事前にFAX等で申し込み

受付時間／月曜日～金曜日 8：30～19：00 土曜日 8：30～17：00

【利用実績】

	利用団体数	利用人数		利用団体数	利用人数
4月	13団体	123名	10月	25団体	194名
5月	17団体	154名	11月	19団体	177名
6月	14団体	133名	12月	12団体	125名
7月	13団体	101名	1月	19団体	169名
8月	12団体	98名	2月	20団体	180名
9月	18団体	143名	3月	21団体	176名
合計 203団体 1,773名					

⑩ NPOに関する相談対応

NPOの組織づくり、法人格取得、組織運営や事業運営、団体紹介等の相談に応じるとともに、必要なサポートを行いました。また、他にも、活動を希望する市民へ各組織を紹介したり、組織の活動内容に関する照会等への対応もたくさんありました。

2007年度のNPOに関する主な相談は次のとおりです。

1 実務（会計・税務・労務等）に関する相談	57件
2 助成金に関する相談	33件
3 法人格取得に関する相談	21件
4 組織の設立に関する相談	21件
5 組織の資源開発（人材・資金）に関する相談	18件

(3) NPOのネットワーキング支援

地域におけるNPO相互のネットワーキング支援を行いました。高知県東部地域のNPOのつながりづくりを支援したほか、NPO支援組織同士の連携も図っています。

①高知県東部地域NPOネットワークの推進

高知県東部地域で活動しているNPOの交流や情報交換の場を設けるために、「高知県東部地域ボランティア団体・NPO交流会」を香南市で開催しました。地域のNPOの話題提供をもとに意見交換を行うこの交流会は、2004年度から始めており、併せて7ヶ所で開催したことになります。

また、この交流会の企画を行っている「高知県東部地域NPO活動推進会議」では、過去の交流会の参加団体に声をかけメンバーの拡充を行ったほか、NPOの組織課題に関する研究・意見交換を行いました。

東部地域ボランティア団体・NPO交流会 in 香南市赤岡の開催

【開催日時】2008（平成20）年2月22日（金） 18：00～20：00

【会 場】香南市赤岡町弁天座

【主な内容】○話題提供「赤岡における“住民参加のまちづくり”の歩み」

絵金蔵運営委員会 会長 浜田 義隆氏

○グループ討議「“住民参加のまちづくり”の仕掛け方とは」

◆オプション企画「赤岡のまち歩き&弁天座舞台うら探検」（16：00～17：30）

【協力】 絵金蔵運営委員会・弁天座運営委員会

【参加者数】36名



絵金蔵運営委員会の話題提供を基に交流会を開催



**赤岡の町づくり
住民ら秘訣学ぶ**

県東部NPO交流会
【香長】県東部のボラ

ンティア団体やNPOの交流会がこのほど、香南市赤岡町の弁天座で開かれ、同町の町づくりの秘訣(ひけつ)を学んだ。県ボランティア・NPOセンターの主催。富戸市や安芸市、安芸郡奈半利町など七市町から十七団体約四十人が参加した。

「行政や議会、商工会も巻き込み、話し合いを重ねたことが奏功した」とまとめた。

参加者は町づくりについて協議。「いろんなアイデアをやってみることが大事」「地域には宝物が眠っている。古いものや何でもないものを愛しもう」といった意見が出された。
(池本広中)

町づくりについて意見を交わした交流会
(香南市赤岡町の弁天座)

2008年2月26日付 高知新聞朝刊 (高知新聞社提供)

NPOの組織課題に関する研究・意見交換会の実施

開催日時／会場	主 な 内 容	参加者数
2007年6月26日(火) 18:00~20:00 安芸市・宅老所「わすれな草」	○各組織の運営課題の共有及び意見交換	10団体 16名
2007年8月30日(木) 18:00~20:00 安芸市・宅老所「わすれな草」	○NPOにおける「中核的な人材の確保(次のリーダーづくり)手法」に関する意見交換 [事例提供者] あきネイチャー 役員 松本 孝氏	8団体 13名
2008年1月15日(火) 18:00~20:00 安芸市・宅老所「わすれな草」	○NPOにおける「資金確保」に関する意見交換 [事例提供者] 特定非営利活動法人室戸ドルフィンプロジェクト 事務局長 前田 正喜氏	9団体 14名
3 回 開 催		43名

高知県東部地域NPO活動推進会議メンバー名簿

(2007度は6回開催)

団 体 名	役 職 名	氏 名
あきネイチャー	役員	松 本 孝
安芸ひなの会	会員	小 林 和 香
特定非営利活動法人安芸老人問題研究会	副理事長	浜 田 東志子
奈半利自然保護研究会	会長	西 尾 寿 公
特定非営利活動法人YASU海の駅クラブ	事務局長	安 芸 誠 一
	専門指導員	井 土 晴 喜
絵金蔵運営委員会	会長	浜 田 義 隆
特定非営利活動法人かがみスポーツクラブ	クラブマネージャー	西 内 慶 明
吉良川町並み保存会	会長	細 木 敏 美
特定非営利活動法人室戸ドルフィンプロジェクト	事務局長	前 田 正 喜

BMW五輪の会	事務局	小松 義人
特定非営利活動法人ごめん・なはり線を支援する会	事務局長	下司 美和
特定非営利活動法人訪問理美容ネットワークゆうゆう	理事長	西岡 貢
高知県企画振興部地域づくり支援課	地域支援企画員（安芸駐在）	堅田 和 凶
	地域支援企画員（奈半利駐在）	島岡 秀夫
	地域支援企画員（安田町駐在）	依光 香代子
	地域支援企画員（室戸市駐在）	祖父江 秀和
高知県安芸福祉保健所	次長	鶴岡 香代
高知県文化環境部男女共同参画・NPO課	主任	松本 英雄
社会福祉法人高知県社会福祉協議会	地域福祉権利擁護専門員 （安芸駐在）	細木 貞秀
高知県ボランティア・NPOセンター	所長代理	半田 雅典
	主事	岡本 真友美

②NPO支援スタッフ会議の開催

高知県内でNPO支援に関わる組織のスタッフが集まり、情報交換を行うとともに、NPOの活動基盤の強化に向けた新たな仕組みづくりについて協議する、「NPO支援スタッフ会議」を開催しました。

2007年度は主として、NPOの情報発信や資金確保の新たな仕組みづくりについて協議を行いました。

開催日時／会場	主 な 内 容
2007年4月13日(金) 15:00～17:00 こうち男女共同参画センター「講習室1」	<ul style="list-style-type: none"> 各組織の2007年度主要事業について 「新聞社を活用した情報発信の仕組み」に関する今後の展開について
2007年8月27日(月) 15:00～17:00 こうち男女共同参画センター「講習室1」	<ul style="list-style-type: none"> 「市民活動1%支援制度」に関する調査・研究のすすめ方について 「新聞社を活用した情報発信の仕組み」に関する調査・研究のすすめ方について

参加組織【高知県ボランティア・NPOセンター、NPO高知市民会議、高知県西部NPO支援ネットワーク、環境の杜こうち、こうち男女共同参画社会づくり財団、高知県国際交流協会】

(4) 他セクターとの協働の推進

NPOと企業、NPOと行政の交流や連携をすすめるため、四万十町をモデル地域とした市町村とNPOとの先駆的な協働事例の創出支援を行ったほか、各種セミナーの開催、「企業・NPO資源循環システム」の運用を行いました。

①NPOと市町村が協働したまちづくり推進研究会の開催

四万十町において、他の市町村への波及が期待できる「NPO」と「市町村役場」が協働したモデル事例の創出に向けた支援事業に3ヵ年計画で着手しました。

初年度となる2007年度は、地元の住民活動団体、行政職員、まちづくりに関わっている方ら有志に呼びかけ、四万十町が抱える地域課題を共有するなかで、協働実践に向けた学びの場、きっかけの場となる研究会（構成団体：NPO10団体、四万十役場4課、高知県庁2課、NPO支援組織3団体）を4回開催しました。

なお、研究会は、高知県西部NPO支援ネットワーク、高知県、四万十町役場との共同開催とし、しまんと町社会福祉協議会の協力もいただきました。

開催日時／会場	主 な 内 容	参加者数
2007年10月4日(水) 18:30~20:40 四万十町農村環境改善センター	○基調スピーチ「今なぜ協働が必要なのか」 [講師]：高知大学人文学部 教授 上田 健作氏 ○情報提供「四万十町総合振興計画について」 情報提供者：四万十町役場 企画課長 武内 文治氏 ○自己紹介・意見交換	16名
2007年11月14日(水) 18:30~20:50 四万十町社会福祉センター	○グループワーク「10年後のわがまち“四万十町”を考える！」 [アドバイザー]高知大学人文学部 教授 上田 健作氏 [ファシリテーター] 高知県ボランティア・NPOセンター 所長 永野 英志	14名
2008年1月10日(木) 18:30~20:50 四万十町社会福祉センター	○グループワーク「“四万十町の問題”をとことん分析する！～参加型計画手法を学ぶなかで～」 [ファシリテーター]高知大学人文学部 教授 上田 健作氏	14名
2008年3月7日(金) 18:30~20:30 四万十町社会福祉センター	○グループワーク「農産物を使って四万十町ブランドをつくる！」 [ファシリテーター]高知大学人文学部 教授 上田 健作氏 ○2008年度「分科会」の課題テーマの提案 提案者：四万十町役場	15名
4 回 開 催		59名

NPOと町の関係者がまちづくりを話し合った（四万十町農村環境改善センター）



NPO、行政の連携推進

研究会 四万十町をモデル地区に
初会議

【探川】「NPOと市町村が協働したまちづくり推進研究会」がこのほど、高知大学人文学部の上田健作教授が「今なぜ協働が必要なのか」と題して講演。「研究会には、高い人間関係を基にした、町の総合振興計画を推進していくことがまちづくりの鍵」と訴え、NPOは思いのある人が集まっており動きやす

い。この方を行政にはできない部分で生かさない手はない」と強調した。出席者は「新規住民などの住民との関係のつくり方は」など質問。上田教授は「共通の課題をつくる」ことが必要。できることから始めて、先例を多量にやましがらせるのも一つの手段」と答えていた。

研究会は数カ月に一回のペースで意見交換を重ねていく。

(井上智也)



協働推進に向けた研究会

2007年10月6日付
高知新聞朝刊
(高知新聞社提供)

②企業市民セミナーの開催

企業の社会貢献活動やNPOとの連携のあり方を考える「企業市民セミナー」を開催しました。このセミナーは、企業の社会貢献担当者やNPOスタッフ等がともに学び合える機会として開催しています。

2007年度第1回は、「高知を元気にする新しい事業おこし」をテーマに、企業のビジネスが地域の活性化や問題解決にどのようにつながるかをともに考え、企業が地域の一員としてどのように社会貢献活動に関わっていくのかを探りました。

また、第2回は「NPOが新たなビジネス・パートナーになる！」をテーマに、社会的ビジネス、コミュニティービジネスを展開しているNPOから、オリジナル開発製（商）品のPRも交えたプレゼンテーションを行い、企業とNPOの販路拡大、事業提携につなげる“ミニミニ商談市”として開催しました。

なお、セミナーの企画は、企業・NPOパートナーシップ委員会で行い、同委員会と高知市市民活動サポートセンターとの共催としました。

【企業・NPOパートナーシップ委員会、高知市市民活動サポートセンターと共催】

開催日時／会場	主 な 内 容	参加者数
2007年9月6日(木) 13:30～16:30 (株)高知銀行 片町研修会館	<p>○事例紹介「高知を元気にする新しい事業おこし」 [事例提供者] 特定非営利活動法人高知県環境自律フォーラム 理事長 小川 雅弘氏 特定非営利活動法人ワークスみらい高知 理事長 竹村 利道氏</p> <p>○質疑応答・ディスカッション [進行] 一宮生コンクリート(株) 代表取締役社長 山崎 一寛氏</p>	31名
2008年2月18日(月) 13:30～16:30 (株)四国銀行本店西別館 5F 研修室	<p>「NPOが新たなビジネス・パートナーになる！（ミニミニ商談市）」</p> <p>○キックオフスピーチ 企業・NPOパートナーシップ委員会 委員長 門田 芳穂氏</p> <p>○プロローグレポート「スタートしたNPOとのビジネス提携」 (株)サニーマート 一般商品グループ バイヤー 黒岩 強志氏</p> <p>○事業・製品のプレゼンテーション 株式会社四万十ドラマ 代表取締役社長 畦地 履正氏 特定非営利活動法人日高わのわ会 事務局長 安岡 千春氏 特定非営利活動法人まあるい心ちゃれんじどの応援団 理事 大崎 隆彦氏</p> <p>○ビジネス交流会 [進行] 特定非営利活動法人NPO高知市民会議 理事 東森 歩氏</p> <p>○まとめ 高知大学人文学部 教授 上田 健作氏</p>	45名
2 回 開 催		76名



第20回はミニミニ商談市として開催

③企業・NPO資源循環システムの運用

企業・団体の持つ物品等の資源をNPOの活動に役立てるための仲介を行うため、「企業・NPO資源循環システム」の運用を行いました。

なお、このシステムは、企業・NPOパートナーシップ委員会、高知市市民活動サポートセンターとの共同運用としています。

〔運用実績〕

提供企業	引渡し年月	提供資源	提供先NPO
㈱四国銀行	2007年 4月、6月	長机、パイプイス、応接セット、ソファ、洋服架け、木製棚、スチール本棚 事務用イス、棚、コートハンガー 計57点	森の応援団さんりん倶楽部、ART NPO TACO、まあるい心ちゃれんじどの応援団、高知だるくの会、デイホームゆったり、アテラーノ旭、ゆうハート安芸の会、訪問理美容ネットワークゆうゆう、たびびと 計9団体
高知スタンダード石油㈱	2007年 6月、7月	カラーレーザープリンター、テーブル、イス、キャビネット、ロッカー、冷蔵庫、タンス、棚、テーブルセット、タンス、カウンター、マガジンラック、仕切り、時計 計21点	めざめ、訪問理美容ネットワークゆうゆう、黒潮蘇生交流会、幡多ふるさとの会、ゆら・ら、土といのち、高知県有機農業研究会 計7団体
高知県 経営者協会	2007年6月	OA机、イス、クーラーボックス、ボックス、ラジカセ、書類棚、FAX付き電話、パーテーション、デスクマット 計17点	とかの元気村、共同作業所森のいえ、要約筆記高知やまもも、チャイルドファーム倶楽部、土といのち、宇佐在宅介護センター、めざめ 計7団体
㈱NTTドコモ四国 高知支店	2007年 6月、10月	機密廃棄ボックス、OA机、イス、キャビネット、棚、パソコンラック、カウンター、仕切り 計88点	たびびと、土といのち、脳外傷友の会、高知青い空、地域サポートの会さわやか高知、高知県肢体障害者協会、由菜の里、れいほくの里どんぐり、Open Heart、いの町グリーンツーリズム研究会、安芸市社会福祉協議会、本山町社会福祉協議会、佐川町社会福祉協議会 計12団体
財高知県 ふくし交流財団	2007年6月	ロッカー、灰皿、ゴミ箱 計6点	ゆうハート安芸の会、訪問理美容ネットワークゆうゆう 計2団体
福高知県社会 福祉協議会	2007年6月	パソコンラック 計1点	訪問理美容ネットワークゆうゆう
㈱サニーマート	2007年9月	石油ストーブ 計2点	宇佐在宅介護センター、めざめ 計2団体
㈱サニー不動産	2007年11月	折りたたみ机、イス 計69点	土といのち、れいほく活性化機構、訪問理美容ネットワークゆうゆう、わくわくライフステージ、Open Heart、うぐるすサクラの会 計6団体

イオンモール(株)	2008年1月	シュレッダー、テレビデオ、棚、ソファ、パイプイス、机、ラック、事務用イス、テーブル、キャビネット、ホワイトボード、時計、コートハンガー、靴箱、のぼり立て、CDラジカセ 計133点	一宮消費者グループ、高知おもちゃ図書館はとぼっぼ、こうち被害者支援センター、フリースペース・ビーねっと、高知NPO、YASU海の駅クラブ、かがみスポーツクラブ、みどりの手みどり作業所、デイサービスあっぱれ、高知いのちの電話協会、デイサービスまる、れいほくの里どんぐり、たびびと、アテラーノ旭、訪問理美容ネットワークゆうゆう、宇佐在宅介護センター、脳外傷友の会高知青い空、土といのち、ART NPO TACO 計19団体
総計 9社		394点	65団体

※その他企業・団体からの支援・協力

(株)太陽 提供物品の保管用倉庫の無償貸与【通年】

(株)マーク 提供物品の保管協力【2007年10月分】



企業・NPO資源循環システム物品受渡し
(企業からの物品をNPOに提供)

④企業・NPOパートナーシップ情報の発行

企業の社会貢献活動や企業とNPOのパートナーシップの必要性を啓発するため、「企業・NPOパートナーシップ情報」を発行しました。この情報誌には、2007年度の企業市民セミナーの開催内容を掲載したほか、「企業・NPO資源循環システム」の運用報告等も掲載しました。

なお、この情報誌は、企業・NPOパートナーシップ委員会、高知市市民活動サポートセンターとの共同発行としています。

企業・NPOパートナーシップ委員会委員名簿

(2007年度は3回開催)

〔任期/2007年4月1日～2009年3月31日〕

	企業・団体名	役職名	氏名
委員長	(株)四国銀行	お客さまサポート部調査役	門田 芳穂
副委員長	(株)土佐ガス	代表取締役社長	高橋 浩介
委員	イオン高知ショッピングセンター	ゼネラルマネージャー	今井 直
	一宮生コンクリート(株)	代表取締役社長	山崎 一寛
	(株)NTTドコモ四国高知支店	企画総務部長 ※2007年11月に交代	清水 雅彦 池田 浩徳
	(株)高知銀行	営業統括部主任指導役	沖 定久
	(株)高知スタンダード石油	代表取締役社長	手嶋 邦彦
	(株)サニーマート	管理本部総務部 (環境・CR担当)	嶋崎 健史
	(株)相愛	事業部(地域計画担当)	田岡 真由美
	高知県経営者協会	総務課長	矢野 正子
	特定非営利活動法人高知NPO	理事長	吉村 文次
	特定非営利活動法人ごめん・なはり線を支援する会	事務局	浜口 勝洋
	特定非営利活動法人自立サポートセンターあきらめないで	副理事長	讃井 侑三
	高知大学	人文学部教授	上田 健作
	特定非営利活動法人NPO高知市民会議	理事	東森 歩
	高知県ボランティア・NPOセンター	所長	永野 英志

⑤「第4回地域づくり仕掛け人市」の開催

NPOやボランティアグループのスタッフ、行政・企業の関係者、そして学生や勤労者等多様な人たちが、集まり、思いや企画、活動内容を伝え合い、語り合う「第4回地域づくり仕掛け人市」を開催しました。

NPOや地域づくり活動家など19団体から「私達と一緒に活動しましょう!」「企画を一緒に考えましょう!」等のプレゼンテーションを受け、興味のある人のもとに集まり、発表者を中心に“企画の市”をつくり、話を深めます。発表者同士も一緒に「市」をつくるなどし、新たな出会いやコラボレーションのきっかけづくりとなりました。

なお、この事業は、高知市市民活動サポートセンターや高知大学人文学部、高知県庁関係各課とともに「第4回地域づくり仕掛け人市実行委員会」(実行委員19名/4回開催)で企画・運営を行いました。

【「第4回地域づくり仕掛け人市」実行委員会、高知市市民活動サポートセンター、高知大学総合教育センター 大学教育創造部門と共催】

〔開催日時〕 2007年9月30日(日) 10:00～15:00

〔会場〕 高知県立ふくし交流プラザ2F多目的ホール

〔主な内容〕 ○仕掛け人からのプレゼンテーション

○昼食交流会

〔協力〕 特定非営利活動法人ちさんねっと

○語り合い・情報交換

〔発表者数〕 16団体(仕掛け人)

〔参加者数〕 112名



地域づくり実例 「仕掛け人」が紹介

高知市でNPOや学生ら

「第四回地域づくりの仕掛け人市」が三十日、高知市朝倉茂の県立ふくし交流プラザで開かれ、県内各地の地域づくりの実践者らが取り組みを報告し、交流を深めた。同実行委などの主催。

地域貢献や文化活動に励む学生やNPO、企業など十八団体と一般参加の約百十人が参加。「仕

文化活動や地域づくりの実践者らを含む交流会などが開かれた「地域づくり仕掛け人市」（高知市の県立ふくし交流プラザ）

掛け人」と呼ばれる各団体の代表が三分間ずつ、取り組みを発表した。

高知市旭地区の住民でつくる「アテラーノ旭」は、住民が店舗を借り、家庭菜園で育てた野菜や手作りの小物などを並べて売る活動を紹介。高知大生らのグループ「裏力」は、安芸郡馬路村から間伐材を仕入れてキーホルダーを製作して販売している取り組みなどを伝えた。

午後の交流会では、各ブースに集った各団体の所へ別のグループや一般の参加者らが行き来して、自由に意見交換。

アテラーノ旭の山中雅子さん（左）は「大学生や他の団体の方々と交流はとても励みになる」と喜び、県ボランティア・NPOセンター所長の水野英志氏（右）は「夢を語る相手を見つかる場を提供できたと思う」と話していた。

2007年10月1日付 高知新聞朝刊（高知新聞社提供）



「市」での語り合い・情報交換の成果を発表

⑥NPO等による移動サービスの支援

多様な人や組織が、目的や活動内容に応じてつながり合い、連携・協働が行える「協働プラットフォーム」的支援の一環として、2003年度より継続的に「NPO等による移動サービス」の支援を行っており、移動サービスに関するNPO等のネットワーク組織である「高知の移動サービスを考える会」と高知県庁関係課とともに、「高知の移動サービスに関する合同検討会」を開催し、法改正後の対応について協議を行っています。

本年度は、改正道路運送法の周知期間が終了する2007年9月末を見据え、県内の移動サービスの現状や今後の課題を把握するため、同考える会と合同で、移動（送迎）サービス関係団体に対して、アンケート調査を実施し、その後開催した移動サービスに関する学習会などでとりまとめた結果を紹介しました。

移動サービスに関する学習会の開催

有償移動サービスを実施しているNPO等、あるいは障害者作業所や宅老所等の利用者の有償送迎を実施している組織、あるいは今後実施を予定している組織を対象に、道路運送法の改正が移動困難者の利便にどのような進展をもたらしたかについて、地域やサービス提供団体で起こっている動きや課題を理解するなかで、今後の取るべき対応と併せ、参加者とともに考えてみる学習会を県内2会場で開催しました。

【高知の移動サービスを考える会、特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワークと共催】

開催日時/会場	主 な 内 容	参加者数
【高知市会場】 2007年10月24日(水) 13:00~16:30 高知ちばさんセンター 5F 研修室3	○情報提供 「道路運送法改正後の移動サービスが抱える課題と今後のあり方について ~移動サービス意向調査から見たもの~」 高知女子大学 社会福祉学部 教授 田中きよむ氏 ○県内先進事例の紹介（NPOと行政から） ①「過疎地における助け合いの移動サービス」 特定非営利活動法人さわやか大豊 代表 都築 康代氏 ②「市町村運営のコミュニティバスの取組みについて」 仁淀川町役場 企画課 主査 瀧本 紘平氏 ○質疑応答・相談対応	58名
【四万十市会場】 2007年10月31日(水) 13:00~16:30 四万十市社会福祉センター 2F 大会議室	○情報提供 「道路運送法改正後の移動サービスが抱える課題と今後のあり方について ~移動サービス意向調査から見たもの~」 高知女子大学 社会福祉学部 教授 田中きよむ氏 ○県内先進事例の紹介（NPOと行政から） ①「法改正後の福祉有償サービス」 特定非営利活動法人さわやか高知 代表 片岡 朝美氏 ②「市町村運営のコミュニティバスの取組みについて」 仁淀川町役場 企画課 主査 瀧本 紘平氏 ○質疑応答・相談対応	24名
2 回 開 催		82名